

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年6月

食肉衛生検査所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	2
4	役付職員の調べ	2
5	主な事業に関する調べ	3
6	現金の取扱状況	4
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	5
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	7
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	7
10	職員駐車場の管理状況調べ	8
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ	8
12	備品の処分状況調べ	8
13	当年度における業務の概要	9
	(1) 事業実施概要	
	(2) と畜検査状況	
	(3) 検査結果に基づく措置	
	(4) と畜場内とさつ頭数及びとさつ解体禁止又は破棄したものの原因	
14	試験検査の状況	12
	(1) 行政検査	
	(2) 受託検査	
15	調査研究等	13
○	意見、要望等	14

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
該当なし	

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
該当なし	

(3) 決算審査意見

決 算 審 査 意 見	処 理 状 況 等
該当なし	

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
該当なし	

3 職員の定員、現員調べ

(令和 4年 4月 1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計			備考
	当 年	該 年度 3.4.1 現在	当 年	該 年度 3.4.1 現在	当 年	該 年度 3.4.1 現在	当 年	該 年度 3.4.1 現在	3.4.1 現在	
定員			11	11			11	11		
現員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
過不足 (△)										
臨時的 任用職員										
会計年度 任用職員	1	1					1	1		

4 役付職員の調べ

(令和 4年 6月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
所長	門木 淳子	0	2	生活環境部 参事
次長	松村 毅	2	2	衛生環境研究所 課長補佐 出納員
課長補佐	湯口 俊之	1	7	会計員
課長補佐	奥山 哲朗	0	2	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名		決算(見込)額	財源内訳			
食肉衛生検査所管理運営事業			国庫支出金	起債	その他	一般財源
		14,022			14,022	
将来ビジョン						
令和新時代創生戦略	大項目 中項目 小項目 SDGsゴール 03 すべての人に健康と福祉を					
政策項目						
(概要)						
ア 目的及び事業の実施状況						
(1) 目的						
と畜場法に基づくと畜検査を厳正に行い、と畜場及び食肉処理施設への衛生指導を徹底し、又、と畜検査情報を生産者に還元することにより、安全な食肉を消費者に提供する。						
(2) 事業の実施状況						
(ア) と畜検査 (詳細は13 当年度における業務の概要を参照)						
と畜検査頭数は82,249頭(牛5,173頭、とく5頭、豚77,057頭、めん羊5頭、山羊9頭)であり、と殺禁止頭数は5頭(豚5頭)、全部廃棄頭数は344頭(牛135頭、豚209頭)、一部廃棄頭数は26,285頭(牛4,102頭、とく5頭、豚22,175頭、めん羊2頭、山羊1頭)、TSE検査頭数は0頭、及び精密検査件数は1,881件(牛971件、豚910件)であった。(令和4年3月31日現在)						
(イ) 施設及び処理作業の衛生確保						
と畜場施設及び食肉処理施設の監視を(株)鳥取県食肉センター職員立会いの下で定期的に行い、施設の衛生的な改善を指導した。また、毎週枝肉の拭き取り検査を行い、汚染状況を確認し、作業環境の改善に貢献している。						
(ウ) と畜検査情報等の還元						
と畜検査の結果を生産農家ごとに集計し、罹患率・廃棄率等の統計を取り、毎月情報提供を行った。また、家畜保健衛生所とも情報共有して農家の指導等に役立ててもらった。						
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点						
特になし						
ウ 成果及び効果						
(1) 食肉衛生検査						
と畜検査、拭き取り検査等により、食肉の安全の確保に寄与した。						
(2) 施設及び処理作業の衛生確保						
と畜場、食肉処理施設における施設、処理作業の衛生指導を徹底することにより、衛生的な食肉の提供に努めた。						
(3) と畜検査情報等の還元						
フィードバック事業に参加した生産者等へと畜検査データを提供することにより、生産性の向上、家畜飼養管理の改善に役立てていただき、健康な獣畜の出荷に寄与した。						
エ 課題						
(1) 人員の確保						
と畜検査員はと畜場法で県の獣医師でなければならないと定められているが、近年、獣医師職員数が減少しており、職員の産休・育休時に正職員の異動で対応することが困難な状況になっていることから、獣医師職員の確保が必要である。						
(2) 新型コロナウイルス感染症対応						
新型コロナウイルス感染症による保健所業務の圧迫から、当所にも応援動員要請があり、宿泊療養施設管理、衛生環境研究所検査業務、クラスター対策班及びコロナ対策施設認証業務等に職員を派遣した。しかし、と畜検査は縮小や停止をすることができない業務であり、育児等による勤務時間に制限のある職員が半数を占めることに加え、新型コロナ対応業務が追加されたことによる職員の負担増加により、業務体制の維持に苦慮している。						

6 現金の取扱状況  
(1) 現金取扱状況  
該当なし

(2) つり銭の状況  
該当なし

7 財産に関する調べ  
 (1) 公有財産  
 ア 土地

(令和 3年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	食肉衛生検査所庁舎敷地	西伯郡大山町小竹1291-7	1,483.53	4,809,507	増加	R	-	-	1,483.53	4,809,507	
計			1,483.53	4,809,507	減少	R	-	-	1,483.53	4,809,507	
普通財産	-	-	-	-	増加	R	-	-	-	-	
計			-	-	減少	R	-	-	-	-	
合計			1,483.53	4,809,507					1,483.53	4,809,507	

イ 建物

(令和 4年 3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政財産	食肉衛生検査所庁舎	西伯郡大山町小竹1291-7	633.45	76,264,105	増加	R	-	-	633.45	76,264,105	
	書庫	西伯郡大山町小竹1291-7	16.15	1,134,000	減少	R	-	-	16.15	1,134,000	
	会議室	西伯郡大山町小竹1291-7	49.68	4,017,000	増加	R	-	-	49.68	4,017,000	
計			699.28	81,415,105	減少	R	-	-	699.28	81,415,105	
普通財産	-	-	-	-	増加	R	-	-	-	-	
計			-	-	減少	R	-	-	-	-	
合計			699.28	81,415,105					699.28	81,415,105	

施設の評価額については、県有施設は課税対象ではないため計算されていないことから初期算定額を記載(大山町税務課確認)

ウ 山林  
 該当なし

エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）  
該当なし

オ 物権  
該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）  
（ア）異動状況  
該当なし

（イ）出願及び登録の状況  
該当なし

（ウ）活用の状況  
該当なし

キ 有価証券  
該当なし

（2）金券類の保有状況  
ア 金券の保有状況

有 ・ 無 （郵便切手）

イ タクシーチケットの保有状況

（令和 4年 3月31日現在）

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使用枚数及び金額	
47 枚	0 枚	0 枚	47 枚
		0 円	



8 財産の貸付け及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 了 土地

(令和 4年 3月 31日現在)

行政区 通財産の 区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量又 は面積	貸 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	
行政財産	財団書類庫用地	西伯郡大山町小竹 1291-7	5.056㎡	令和3年 2月22日	平成12年 3月10日	令和3年 4月1日 ～ 令和4年 3月31日	月額・年額 214	214	文書ID 20- 00282364
計							月額・年額	214	該当なし
普通財産									
合計								214	

イ 建物  
 (令和 4年 3月 31日現在)

行政区 通財産の 区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量又 は面積	貸 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	
行政財産	財団事務所及び 倉庫	西伯郡大山町小竹 1291-7	19.845㎡	令和3年 2月22日	平成12年 3月10日	令和3年 4月1日 ～ 令和4年 3月31日	月額・年額 66,400	66,400	文書ID 20- 00282364
計							月額・年額	66,400	該当なし
普通財産									
合計								66,400	

(2) 物品  
 該当なし

9 借受不動産明細調べ

(令和 4年 3月 31日現在)

区分	種別	借受(使用) 目的	所在地	数量又 は面積	契約書 の有無	契約の状況		備考		
						借受期間	借料(円)			
				単価	本年度の借料	借受先				
				月額・年額	月額・年額	住氏	所名			
土地	宅地	会議室用地	西伯郡大山町小竹 1291-1	133.00㎡	有	令和3年 4月1日 ～ 令和4年 3月31日	48,000	48,000	西伯郡大山町小竹 1291-1 (株)鳥取県 食肉センター	文書ID 20- 00308894
合計										

10 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和 4年 3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町小竹1291-7	12.5	1,000
普通財産	—	—	—

(2) 減免の考え方

勤務地が地理的に不便な場所にあり、公共交通機関を利用した場合、勤務地の最寄駅・バス停から勤務先までの距離が遠く、始業時間に間に合わない。かつ、公共交通機関での退庁が困難な職場であるため。(直近の最寄駅・バス停まで5km以上離れている。)

(3) 使用料の見直し

令和 3年 4月 1日実施

11 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

12 備品の処分状況調べ

(令和 4年 3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売 払 棄 却 の 別	売払方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売 払 額		処 分 費 用
マイクロ プレート ウォッ シャー (バイオ ラッド 170- 7009BSE)	平成13年 10月16日	令和3年 10月15日	棄 却	修理可能年数 を越え、修理 不能のため産 業廃棄物とし て廃棄	令和3年 11月2日	円 —	円 10,000	文書ID 21- 00169279
合 計						円 —	円 10,000	

### 13 当年度における業務の概要

#### (1) 事業実施概要

安全で衛生的な食肉の確保を目的として、(株)鳥取県食肉センターと畜場に搬入された家畜のと畜検査を厳正に実施し、家畜疾病から食肉への危害発生を防止した。

と畜場の衛生対策として平成30年6月にと畜場法が改正され、と畜場においてHACCPに基づく衛生管理が制度化された。そこで令和3年6月の施行に向けて、事業者への助言・指導を行うとともに、当所による外部検証実施に向けた体制づくりに努めた。

BSE(牛海綿状脳症)及びTSE(伝達性海綿状脳症)については、現在、生体検査等で罹患している疑いのある場合のみが検査対象となっているが、当該年度は検査対象となった個体はなかったため検査を実施していない。

#### (2) と畜検査状況

令和3年度における総検査頭数は82,249頭で、前年度に比較して1,699頭(約2.0%)の減であった。

畜種別内訳は、牛5,173頭(和牛1,601頭、乳牛3,570頭、肉専用種2頭)で前年度に比較して566頭(約9.9%)の減、豚77,057頭で1134頭(約1.5%)の減であった。その他、とく5頭、めん羊5頭、山羊9頭であった。

(令和4年3月31日現在) (単位:頭)

区分	和牛	乳牛	牛計	とく	馬	豚	めん羊	山羊	合計
当年度	1,601	3,570	5,173	5	0	77,057	5	9	82,249
前年度	1,946	3,793	5,739	5	0	78,191	0	13	83,948
前年度比(%)	82.3	94.1	90.1	100	0	98.5	0	69.2	98.0

注 「とく」: 生後1年未満の牛

#### (3) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は26,634頭(総検査頭数の約32.4%)であった。

##### (ア) 禁止

とさつ禁止頭数は豚5頭で、処分理由は膿毒症4頭、豚丹毒1頭であった。

##### (イ) 全部廃棄

全部廃棄頭数は344頭で、畜種別では牛135頭、豚209頭であった。

原因別では、豚丹毒27頭、膿毒症122頭、敗血症23頭、尿毒症6頭、高度の黄疸32頭、高度の水腫60頭、牛伝染性リンパ腫22頭、白血病3頭、腫瘍の多発1頭、全身性の出血性炎症3頭、全身性の筋肉変性45頭であった。

##### (ウ) 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは26,285頭で、畜種別では牛4,102頭、とく5頭、豚22,175頭、めん羊2頭、山羊1頭であった。

(4) と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ・解体禁止又は廃棄したものの原因

(令和4年3月31日 現在) (単位: 頭)

区分	と畜場内とさつ頭数	処理	処分実頭数	疾病別頭数														
				細菌病						ウイルス		原虫		寄生虫病				
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核病	ブルセラ病	破傷風	放線菌病	その他	豚熱	その他	トキソプラズマ病	その他	のう虫病	ジストマ病	その他
牛	5,173	禁止																
		全部廃棄	135															
		一部廃棄	4,102							3						2	7	
		計	4,237							3						2	7	
とく	5	禁止																
		全部廃棄																
		一部廃棄	5															
		計	5															
馬		禁止																
		全部廃棄																
		一部廃棄																
		計																
豚	77,052	禁止	5	1														
		全部廃棄	209	27														
		一部廃棄	22,175															1,667
		計	22,389	28														1,667
めん羊	5	禁止																
		全部廃棄																
		一部廃棄	2													1		
		計	2													1		
山羊	9	禁止																
		全部廃棄																
		一部廃棄	1															
		計	1															
計	82,244	禁止	5	1														
		全部廃棄	344	27														
		一部廃棄	26,285						3							3	1,674	
		計	26,634	28					3							3	1,674	

(つづき)

区分	処理	疾病別頭数										
		その他の疾病										
		膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	炎症又は汚染による	変性又は萎縮	その他	計
牛	禁止											
	全部廃棄	14	12	5	20	59	23		2			135
	一部廃棄				3	189			3,494	322	1,784	5,804
	計	14	12	5	23	248	23		3,496	322	1,784	5,939
とく	禁止											
	全部廃棄											
	一部廃棄					2			3		2	7
	計					2			3		2	7
馬	禁止											
	全部廃棄											
	一部廃棄											
	計											
豚	禁止	4										5
	全部廃棄	108	11	1	12	1	3		1	45		209
	一部廃棄				3	660	2		20,667	1,880	1,762	26,641
	計	112	11	1	15	661	5		20,668	1,925	1,762	26,855
めん羊	禁止											
	全部廃棄											
	一部廃棄								1			2
	計								1			2
山羊	禁止											
	全部廃棄											
	一部廃棄					1			1			2
	計					1			1			2
計	禁止	4										5
	全部廃棄	122	23	6	32	60	26		3	45		344
	一部廃棄				6	852	2		24,167	2,202	3,548	32,456
	計	126	23	6	38	912	28		24,170	2,247	3,548	32,805

14 試験検査の状況

(1) 行政検査

実施頭数は433頭で、検査延件数は1,881件と前年度と比較して650件の増であった。

(令和2年度 実施頭数294頭 検査延件数1,231件)

(令和4年3月31日現在) (単位:頭、件)

疾病名等	検査区分		顕微鏡検査	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
		検査頭数					
敗血症	牛	12	129	137			266
	とく						
	豚	19	159	218			377
	小計	31	288	355			643
尿毒症	牛	13			15		15
	とく						
	豚	4			6		6
	小計	17			21		21
黄疸	牛	37			37		37
	とく						
	豚	24			24		24
	小計	61			61		61
腫瘍	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
炭疽	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
ヨ－ネ病	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
牛伝染性リンパ腫	牛	23			209		209
	とく						
	豚						
	小計	23			209		209
白血病	牛						
	とく						
	豚	5			30		30
	小計	5			30		30
豚丹毒	牛						
	とく						
	豚	44		113			113
	小計	44		113			113
抗菌物質残留検査	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
枝肉の衛生状況検査 (O157及び生菌数)	牛	84		324			324
	とく						
	豚	48		240			240
	小計	132		564			564
HACCP外部検証	牛	60		120			120
	とく						
	豚	60		120			120
	小計	120		240			240
その他	牛						
	とく						
	豚						
	小計						
合計	牛	229	129	581	209	52	971
	とく						
	豚	204	159	691	30	30	910
	合計	433	288	1272	239	82	1881
前年度	合計	294	148	790	205	88	1231

(2) 受託検査

株式会社鳥取県食肉センターから大腸菌数検査68件及び腸内細菌科菌群数検査23件を受託し、検査した。

(令和4年3月31日現在) (単位:件)

項目	検査区分		受託件数	細菌検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
	牛	豚					
拭き取り検査	牛		29	29			29
	豚		39	39			39
その他			23	23			23
合計			91	91			91
前年度			71	71			71

15 調査研究等

(令和4年3月31日現在) (単位:頭、件)

項目	検査区分		検査頭数 (件数)	顕微鏡 検査	細菌検査	病理組織 検査	理化学 検査	検査 延件数
	牛	豚						
病理検査			18			68		68
微生物検査 (PCR)			57		134			134
微生物検査 (汚染度調査)			43		86			86
微生物検査 (同定)			59		235			235
精度管理 残留物質			9	3	46		60	109
その他			1				5	5
合計			187	3	501	68	65	637
前年度			183	7	557	89	46	699

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし